

带状疱疹ワクチン (シングリックス) 接種開始のお知らせ

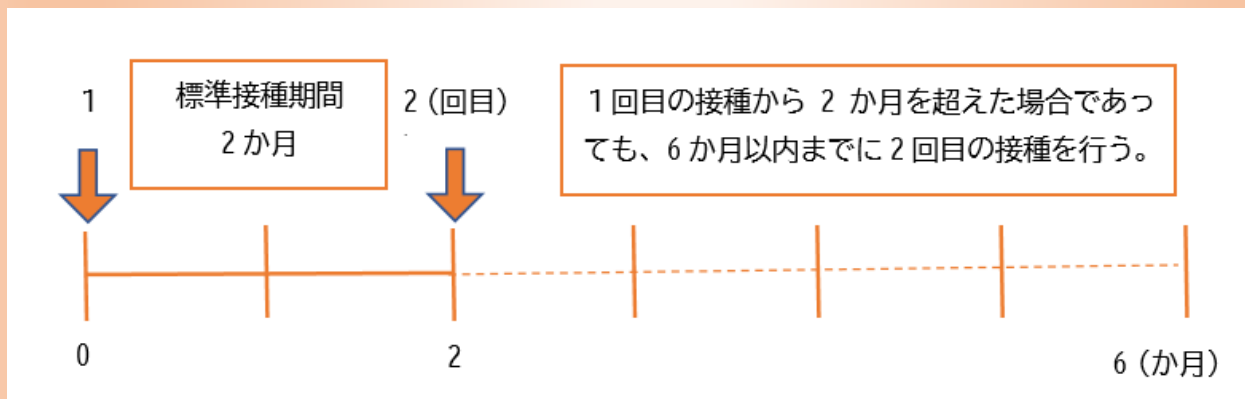
・50歳以上の方の9割が、带状疱疹ウイルスに、既に感染していると考えられ、80歳までに、3人に1人が带状疱疹を発症すると言われています。

・**強い痛みや、長引く後遺症**を予防するために、**50歳以上の方は予防接種をお勧めします！**

・接種回数 2回

2回目の接種は、1回目の接種より2か月後

1回目の接種から2か月を過ぎた場合でも6か月以内に2回目の接種が必要です。



・対象年齢 50歳以上

・料金 ¥22,000(税込) × 2回 = **¥44,000**

※ 1回接種ごとに料金(¥22,000)をお支払いいただきます。

※その他不明な点はお問い合わせください。

お申込みは



複十字病院 健康管理センター

042-491-4712 (平日8:30~17:00)

1.帯状疱疹について

成人の方の9割以上は帯状疱疹の原因となるウイルスが体内に潜伏し、80歳までに約3割が帯状疱疹を発症すると言われています。

発症すると、皮膚の症状（赤い発疹）だけではなく、神経にも炎症を起こし痛みが現れます。神経が損傷されることによって、皮膚の症状が治癒した後も3か月以上痛みが残ってしまう帯状疱疹後神経痛（PHN）や、目や耳への合併症、顔面神経麻痺などの重い後遺症が残る危険性があります。

2.シングリックス（帯状疱疹ワクチン）

帯状疱疹ウイルスの予防に従来使用されていた水痘ワクチン（予防効果51%）と比較し、高い予防効果（50歳以上で97%、70歳以上で90%）を持つワクチンです。

※シングリックスは予約が必要です。予約を頂いてから納入まで2週間ほどかかります。ご迷惑をお掛けいたしますがご了承ください。

3.接種の際の副反応・注意点について

- ・注射部位における副反応、疼痛の発現率が8割と高いワクチンとなっています。
- ・注射部位の発赤、腫れは3割程度認めますが、3日以内におさまることがほとんどです。
- ・接種当日は、激しい運動を避け、接種部位を清潔に保ってください。
- ・接種当日の入浴は差支えありません。
- ・接種後に、接種部位の異常な反応・体調の変化を認めた際は近くの医療機関をご受診下さい。
- ・痛み、腫れ、発熱が生じた際は冷却、アセトアミノフェンなどの解熱剤（ドラッグストアで購入可能）でも対応可能です。
- ・リウマチ薬、ステロイド剤、免疫抑制剤を内服中の方、肝・腎機能が悪い方は、主治医に確認を取った上で接種をお願いいたします。

4.Q&A

①以前、帯状疱疹にかかったことがあります。ワクチンは接種できますか？

⇒接種可能です。体の免疫力が低下すると、再び発症する可能性があるため接種をお勧めします。

②2回の接種とありますが、接種間隔はどのようになっていますか？

⇒原則として、1回目と2回目の接種間隔は2か月、2回目は遅くとも1回目から6か月以内までには接種することになっています。